

# 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)



2022年2月4日

上場会社名 株式会社 ミューチュアル  
 コード番号 2773 URL <https://www.mutual.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6315-8613

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,616	33.6	206	81.3	254	77.8	176	75.2
2021年3月期第3四半期	8,454	1.8	1,103	29.1	1,150	30.0	711	27.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 151百万円 ( 83.7%) 2021年3月期第3四半期 927百万円 (30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	27.36	
2021年3月期第3四半期	110.35	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	16,537	10,741	62.6	1,604.87
2021年3月期	15,426	10,764	67.1	1,605.17

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 10,354百万円 2021年3月期 10,356百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		25.00	25.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	20.3	635	49.1	677	47.9	366	60.9	56.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	7,620,320 株	2021年3月期	7,620,320 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,168,558 株	2021年3月期	1,168,505 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	6,451,785 株	2021年3月期3Q	6,451,878 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P.2 「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種の政策や緊急事態宣言解除に伴う経済活動の再開により、持ち直しがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念もあり、依然として先行きは厳しい状況が続いております。海外経済につきましても、変異株をはじめ感染症の影響によるサプライチェーンの停滞や資源価格高騰等の下振れリスクが大きく非常に不透明な状況となりました。

当社の主要マーケットであります国内医薬品業界におきましては、一昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響、並びに薬価改定の制度変更やジェネリック医薬品の普及一巡により、設備投資計画の見直しも進みつつあることから、市場環境は引続き極めて厳しい状況となりました。

このような状況下、当社グループではWEBによる商談や打合せをベースとしながらも、訪問による営業活動も積極的に行う等、受注獲得に注力するとともに、デモ機やテスト装置を充実させ、幅広い業界のお客様に対応できるよう体制を強化して参りました。子会社である株式会社ウイストにおきましては11月、12月に新開発機の内覧会、展示会出展を行い、多くのお客様に製品を紹介する等、受注強化を図って参りました。12月末の受注残高は11,455百万円と前年同期比2.3倍となり、来期以降の大口案件が順調に増加しております。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による期首受注残高の減少により、前年同期比2,838百万円減収となりました。損益面におきましては、上記減収に加え、大口の低採算案件があり売上高総利益率が前年同期比2.4ポイント低下し、売上総利益が940百万円減少した結果、営業利益以下の各段階利益も減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,616百万円（前年同期比33.6%減）、売上総利益は1,462百万円（同39.1%減）、営業利益は206百万円（同81.3%減）、経常利益は254百万円（同77.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は176百万円（同75.2%減）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

#### ①産業用機械事業

当社グループの主力事業である産業用機械事業は、売上高全体では5,272百万円（前年同期比35.5%減）でありました。この内、医薬品業界が3,935百万円（同32.4%減）、化粧品業界が716百万円（同52.0%減）、食品業界が284百万円（同24.6%減）、その他業界が335百万円（同30.5%減）となりました。

#### ②工業用ダイヤモンド事業

工業用ダイヤモンド事業は、事業売上高として343百万円（前年同期比21.6%増）となりました。主なユーザーは自動車業界、半導体業界であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,111百万円増加し、16,537百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が1,225百万円減少する一方で、その他が1,046百万円、仕掛品が566百万円、現金及び預金が452百万円、前渡金が292百万円それぞれ増加したことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1,134百万円増加し、5,795百万円となりました。これは主として前受金が1,564百万円増加する一方で、未払法人税等が234百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比23百万円減少し、10,741百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益が176百万円ありましたが、配当金の支払いが161百万円あったことで利益剰余金が15百万円増加しましたが、非支配株主持分が20百万円、その他有価証券評価差額金が16百万円それぞれ減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、国内外ともに新型コロナウイルス感染症再拡大による検収遅延の懸念はありますが、前回発表（2021年5月17日公表 「2021年3月期 決算短信」）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,396,930	6,849,005
受取手形及び売掛金	3,021,427	1,795,797
電子記録債権	686,431	695,613
有価証券	37,269	97,304
商品及び製品	55,863	53,185
仕掛品	1,325,867	1,892,598
原材料	81,453	76,918
前渡金	303,348	596,097
その他	120,312	1,166,455
貸倒引当金	△3,630	△1,315
流動資産合計	12,025,273	13,221,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	453,616	431,720
土地	571,012	571,012
その他(純額)	57,414	47,937
有形固定資産合計	1,082,043	1,050,670
無形固定資産		
その他	17,893	14,066
無形固定資産合計	17,893	14,066
投資その他の資産		
投資有価証券	1,665,813	1,594,803
繰延税金資産	102,467	100,150
長期預金	1,500	—
その他	537,035	561,673
貸倒引当金	△5,429	△5,370
投資その他の資産合計	2,301,386	2,251,257
固定資産合計	3,401,323	3,315,994
資産合計	15,426,597	16,537,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,651,748	1,714,855
電子記録債務	1,075,053	1,051,288
未払法人税等	234,960	414
前受金	942,189	2,506,644
賞与引当金	96,144	59,175
その他	408,192	202,801
流動負債合計	4,408,289	5,535,180
固定負債		
役員退職慰労引当金	85,448	88,652
退職給付に係る負債	17,759	20,612
繰延税金負債	29,164	30,009
その他	121,136	121,407
固定負債合計	253,509	260,681
負債合計	4,661,798	5,795,861
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	725,702	725,702
利益剰余金	9,108,614	9,123,852
自己株式	△769,638	△769,641
株主資本合計	9,734,378	9,749,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621,942	605,060
繰延ヘッジ損益	1,619	1,144
為替換算調整勘定	△1,698	△1,596
その他の包括利益累計額合計	621,864	604,607
非支配株主持分	408,556	387,572
純資産合計	10,764,798	10,741,794
負債純資産合計	15,426,597	16,537,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	8,454,919	5,616,355
売上原価	6,051,352	4,153,506
売上総利益	2,403,566	1,462,849
販売費及び一般管理費	1,300,515	1,256,583
営業利益	1,103,050	206,266
営業外収益		
受取利息	4,067	4,175
受取配当金	23,980	30,189
投資有価証券売却益	—	6,600
投資有価証券評価益	13,885	—
為替差益	350	4,717
その他	5,135	4,192
営業外収益合計	47,419	49,875
営業外費用		
支払利息	148	192
投資有価証券評価損	—	1,045
その他	—	97
営業外費用合計	148	1,335
経常利益	1,150,321	254,806
特別利益		
固定資産売却益	1,858	1,579
特別利益合計	1,858	1,579
税金等調整前四半期純利益	1,152,180	256,385
法人税、住民税及び事業税	353,569	77,027
法人税等調整額	17,390	10,585
法人税等合計	370,960	87,613
四半期純利益	781,219	168,772
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	69,249	△7,761
親会社株主に帰属する四半期純利益	711,970	176,533

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	781,219	168,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,235	△16,882
繰延ヘッジ損益	1,777	△475
為替換算調整勘定	4,748	101
その他の包括利益合計	146,761	△17,256
四半期包括利益	927,980	151,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	858,731	159,277
非支配株主に係る四半期包括利益	69,249	△7,761



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は検収基準を適用していた契約のうち、一定期間にわたり履行義務が充足される契約については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用機械事業	工業用ダイヤ モンド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,172,151	282,767	8,454,919	—	8,454,919
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,172,151	282,767	8,454,919	—	8,454,919
セグメント利益	1,481,848	29,985	1,511,834	△408,783	1,103,050

(注) 1. セグメント利益の調整額△408,783千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用機械事業	工業用ダイヤ モンド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,272,481	343,874	5,616,355	—	5,616,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,272,481	343,874	5,616,355	—	5,616,355
セグメント利益	576,181	49,472	625,653	△419,387	206,266

(注) 1. セグメント利益の調整額△419,387千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。